

令和 5 年度（2023 年度）

精神保健福祉審議会

＜令和 4 年度（2022 年度）熊本市精神保健福祉事業報告＞

令和 5 年 12 月 22 日

■ 目 次 ■

1 精神疾患患者の現状等について	1
(1) 630 調査による入院患者等の状況	1
(2) 自立支援医療（精神通院医療）の状況	2
(3) 精神障がい者保健福祉手帳の状況	2
2 事業の実施状況等について	4
(1) 精神保健福祉相談等について（うつ病対策、かかりつけ医研修等）	4
(2) 人材及び組織の育成・援助並びに教育研修等	7
(3) 自殺対策事業について	8
(4) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて	12
(5) 精神障害者退院後支援事業について	17
(6) 社会復帰支援事業について	17
(7) ひきこもり対策について	19
(8) 依存症対策について	20
(9) その他、精神障がい者の社会復帰支援について	21
(10) 精神科救急体制整備事業（県・市合同事業）について	22
(11) 入院手続きの件数等について	23
(12) 精神医療審査会	23

1 精神疾患患者の現状等について（令和4年度）

(1) 630調査による入院患者等の状況

① 病院数、入院患者数等

（各年10月1日現在）

年度	人口 (千人)	精神科 病院数	精神科 病床数	人口万対 病床数	入院 患者数 (A)	人口万対 入院 患者数	措置 入院者数 (B)	人口万対 措置 患者数	病床 利用率	措置率 (B/A)
R2	739	20	3,142	42.5	2,731	37.0	17	0.2	86.9%	0.62%
R3	738	20	3,142	42.6	2,759	37.4	21	0.3	87.8%	0.76%
R4	738	20	3,142	42.6	2,657	36.0	20	0.3	84.6%	0.75%

（参考）全国分R4.10.1現在

全国	124,947	1,545	300,801	24.1	258,920	20.7	1,546	0.1	86.1%	0.60%
----	---------	-------	---------	------	---------	------	-------	-----	-------	-------

② 入院患者の病類別内訳

年度	総数	F0		F1		F2		F3		F4	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2	2,731	696	25.5%	64	2.3%	1,460	53.5%	332	12.2%	34	1.2%
R3	2,759	755	27.4%	58	2.1%	1,406	51.0%	334	12.1%	53	1.9%
R4	2,657	724	27.2%	49	1.8%	1,363	51.3%	338	12.7%	44	1.7%

年度	F5		F6		F7		F8		F9		G40		その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2	5	0.2%	3	0.1%	51	1.9%	48	1.8%	9	0.3%	15	0.5%	14	0.5%
R3	9	0.3%	6	0.2%	58	2.1%	43	1.6%	7	0.3%	16	0.6%	4	0.1%
R4	2	0.1%	6	0.2%	52	2.0%	40	1.5%	13	0.5%	15	0.6%	11	0.4%

※F0：症状性を含む器質性精神障がい F1：精神作用物質使用による精神及び行動の障がい F2：統合失調症、統合失調症型障がい及び妄想性障がい F3：気分[感情]障がい F4：神経症性障がい、ストレス関連障がい及び身体表現性障がい
 F5：生理的障がい及び身体的要因に関連した行動症候群 F6：成人の人格及び行動の障がい F7：知的障がい（精神遅滞）
 F8：心理的発達の障がい F9：小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障がい及び特定不能の精神障がい
 G40：てんかん（F0に属さないもの）

<考察>

令和4年の本市内の精神科病院入院患者数は2,657人とほぼ横ばいの状況。疾患別では、統合失調症患者〔F2〕1,363人（51.3%）が入院患者の約半数を占め、次いで、認知症〔F0〕724人（27.2%）気分障害（うつ病等）〔F3〕338人（12.7%）の順となっており、認知症の占める割合が増加している

③ 病院及び診療所数

※こころの健康センターの診療は平成 29 年度以降、外来開設なし

年度	精神科病院	精神科・心療内科 を標榜する診療所	精神病床を有しない病院の 精神科・心療内科外来	精神科外来を行っている 精神保健福祉センター(※)
R2	20	42	10	1
R3	20	42	10	1
R4	20	47	10	1

(2) 自立支援医療（精神通院医療）の状況

・病類別受給者数

年度	総数	F0		F1		F2		F3		G40		その他	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2	7,743	320	4.1%	176	2.3%	1,845	23.8%	3,323	42.9%	379	4.9%	1,700	22.0%
R3	16,027	663	4.1%	305	1.9%	3,953	24.7%	7,016	43.8%	789	4.9%	3,301	20.6%
R4	16,263	713	4.4%	340	2.1%	3,792	23.3%	7,325	45.0%	849	5.2%	3,244	19.9%

※F0：症状性を含む器質性精神障がい、F1：精神作用物質使用による精神及び行動の障がい、F2：統合失調症、統合失調症型障がい及び妄想性障がい、F3：気分[感情]障がい、G40：てんかん（F0に属さないもの）

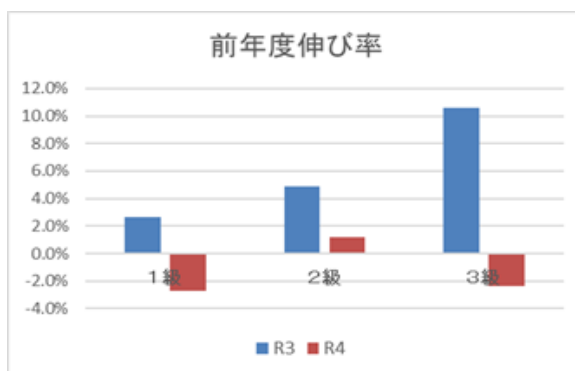
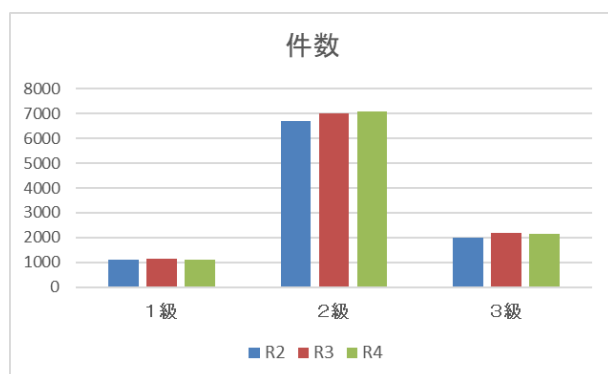
※R2 年度の受給者数については新型コロナウイルス感染症特例に伴う期間延長の対象者は除く（R2 年 3 月末～R3 年 2 月末期限が対象）。

(3) 精神障がい者保健福祉手帳の状況

① 障害等級手帳所持者数

年度	総数	1級		2級		3級	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2	9,763	1,105	11.3%	6,680	68.4%	1,978	20.3%
R3	10,329	1,134	11.0%	7,008	67.8%	2,187	21.2%
R4	10,330	1,104	10.7%	7,089	68.6%	2,137	20.7%

※各年度末（3 月 31 日現在）の人

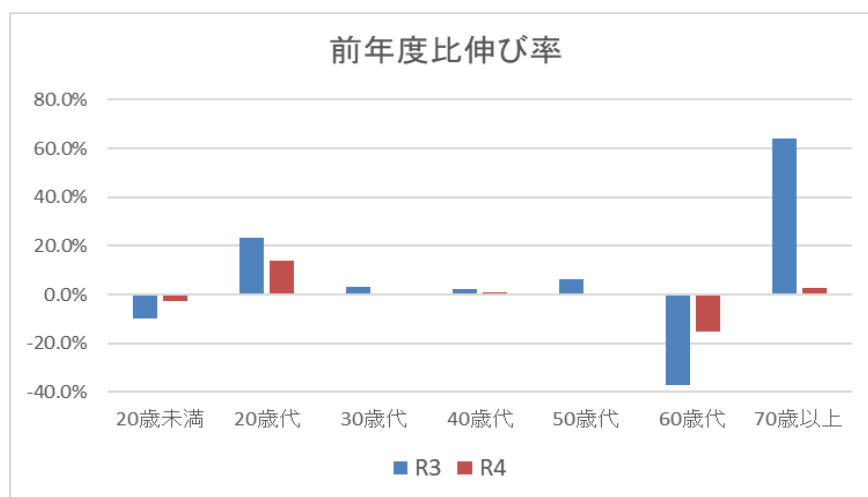
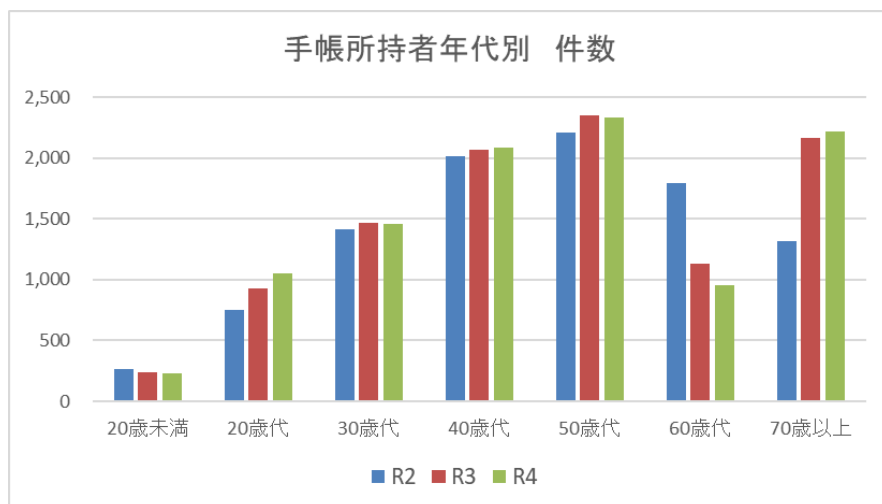


②年齢別手帳所持者数

年度	総数	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2	9,763	263	2.7%	750	7.7%	1,416	14.5%	2,017	20.7%
R3	10,329	237	2.3%	926	9.0%	1,462	14.2%	2,064	20.0%
R4	10,330	231	2.2%	1,054	10.2%	1,455	14.1%	2,083	20.2%

年度	50歳代		60歳代		70歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2	2,206	22.6%	1,791	18.3%	1,320	13.5%
R3	2,348	22.7%	1,128	10.9%	2,164	21.0%
R4	2,332	22.6%	956	9.3%	2,219	21.5%

※ 各年度末（3月31日現在）の人数。



<考察>

令和4年度末の手帳所持者は10,330人と横ばい傾向。精神障害者手帳2級取得が増加している。

※手帳年々増加、要因としては、制度の周知が図られてきたことや、障害福祉サービス（居宅サービスや就労系の施設通所等）が充実してきたこと等が考えられる。

2 事業の実施状況等について

(1) 精神保健福祉相談等について（うつ病対策、かかりつけ医研修等）

① 精神保健相談 ＜各区役所・精神保健福祉室＞

こころの問題や病気、障がい者の社会復帰などについて、保健師等が面接や電話による相談、訪問指導を行う。

		面接相談件数												
年 度		老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	うつ・ うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
R2		328	178	24	2	0	2	9	137	129	5	7	310	1,131
R3		302	162	19	4	2	5	10	205	23	5	4	67	808
R4		363	162	22	22	1	6	3	204	41	2	2	34	862
（再掲）	中央	39	30	0	0	0	0	0	42	0	0	0	12	123
	東	76	39	0	0	0	0	0	30	3	0	0	5	153
	西	141	24	16	22	0	4	2	56	22	1	2	0	290
	南	34	35	4	0	1	2	0	31	3	0	0	7	117
	北	69	17	2	0	0	0	1	41	13	1	0	9	153
	保健所	4	17	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	26

		電話相談延件数												
年 度		老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	うつ・ うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
R2		1,130	1,296	143	9	0	0	28	1,604	136	3	4	719	5,072
R3		1,793	1,074	169	9	35	6	62	1,568	62	15	11	549	5,353
R4		2,109	1,095	211	28	19	15	63	1,415	344	40	7	437	5,783
（再掲）	中央	59	334	8	0	0	0	2	297	1	9	0	98	808
	東	378	220	0	10	0	0	0	266	104	10	0	8	996
	西	151	58	44	14	0	1	13	338	18	0	6	2	645
	南	585	115	29	0	9	2	2	113	31	1	0	45	932
	北	766	234	73	0	0	0	1	158	27	7	0	14	1,280
	保健所	170	134	57	4	10	12	45	243	163	13	1	270	1,122

		訪問延件数												
年 度		老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	うつ・ うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
R2		224	379	35	3	0	0	5	220	0	7	4	82	959
R3		386	327	27	0	3	4	1	194	0	6	6	61	1,015
R4		358	287	23	4	2	1	5	163	0	2	9	45	899
（再掲）	中央	25	29	2	0	0	0	2	46	0	0	0	10	114
	東	65	18	0	3	0	0	0	15	0	0	0	1	102
	西	166	35	12	0	0	1	3	49	0	0	4	0	270
	南	39	22	7	1	1	0	0	19	0	0	1	14	104
	北	62	34	1	0	1	0	0	31	0	2	4	15	150
	保健所	1	149	1	0	0	0	0	3	0	0	0	5	159

② こころの健康相談 <こころの健康センター>

◆ 来所相談

年度	老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康 ※1	うつ	摂食障害	てんかん	その他	計	再掲				
													ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
R2	8	0	24	10	45	30	139	19	1	0	200	476	26	37	34	0	1
R3	11	1	24	13	68	34	147	16	2	0	140	456	9	32	22	1	0
R4	15	6	38	12	37	33	92	33	1	2	144	413	22	27	56	0	0

◆ 電話相談

年度	老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康 ※1	うつ	摂食障害	てんかん	その他	計	再掲				
													ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
R2	125	5	134	33	93	166	1,274	170	15	1	5,845	7,861	27	167	331	0	10
R3	99	4	125	32	97	140	1,338	200	14	1	5,741	7,791	23	176	212	2	1
R4	109	8	155	56	93	161	1,094	421	19	5	5,817	7,938	28	159	296	4	1

◆ メール相談

年度	老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康 ※1	うつ	摂食障害	てんかん	その他	計	再掲				
													ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
R2	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	17	40	0	6	3	0	0
R3	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	6	13	0	5	5	0	0
R4	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	59	63	0	5	5	0	0

◆ 訪問相談

年度	老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康 ※1	うつ	摂食障害	てんかん	その他	計	再掲				
													ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
R2	1	7	0	0	0	5	35	3	7	0	14	72	1	4	29	0	0
R3	0	0	0	0	0	2	13	1	0	0	17	33	1	7	22	0	0
R4	1	0	0	0	0	0	12	3	0	0	9	25	0	0	22	0	0

※1 「心の健康」…社会生活において生ずるストレスの増大等による精神疾患に陥らないための心の健康づくりに関する相談

③ 心の健康相談 <各区役所>

市民の心の健康の保持・増進を図るため、精神科医（嘱託）による相談日を各区役所に月1回設け、必要な援助を行う。

年度	実施場所（相談開催日）					総数
	中央区役所	東区役所	西区役所	南区役所	北区役所	
R2	11 (11)	6 (6)		6 (6)	7 (7)	30 (30)
R3	8 (8)	1 (1)		6 (5)	14 (14)	29 (28)
R4	5 (5)	4 (4)	11 (11)	4 (4)	12 (12)	36 (36)

④ かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会 <精神保健福祉室>

うつ病等の診断技術等の向上を図り、多くのうつ病患者の早期発見・早期治療を行うため、最初に診察することの多い一般内科医等のかかりつけ医に対して、うつ病に関する専門的な養成研修を熊本県と共同で実施。事業は、熊本県医師会に委託。

年度	月日	参加者数	内容
R2	令和3年1月16日	118人	かかりつけ医のためのうつ病診療—基礎と臨床—
	令和3年2月6日		
R3	令和3年12月25日	53人	かかりつけ医のためのうつ病診療—基礎と臨床—
R4	令和5年3月18日	53人	かかりつけ医のためのうつ病診療—基礎と臨床—

(2) 人材及び組織の育成・援助並びに教育研修等

① 精神保健福祉関係団体の育成支援 <こころの健康センター>

関係団体等の組織育成を図り、地域住民の組織的活動を促し、地域精神保健福祉の向上を図る。

年度	患者会	家族会	依存症の自助団体・回復施設	その他	計
R2	0	2	0	2	4
R3	0	3	1	0	4
R4	0	3	12	2	17

② 精神保健福祉関係機関への技術支援 <こころの健康センター>

区役所・福祉事務所・医療施設・教育施設等への技術支援や援助を行う。

◆ 個別ケース処遇（延件数）

年度	老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
R2	16	1	28	17	4	46	154	136	302	0	0	314	1,018
R3	9	0	34	25	6	65	133	154	226	4	0	170	826
R4	32	3	55	13	10	28	56	174	315	0	0	174	860

◆ 関係機関事業（延件数）

年度	老人精神	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
R2	1	2	1	6	0	1	24	5	2	0	0	7	49
R3	0	1	4	4	3	5	27	1	21	1	0	4	71
R4	3	4	10	9	1	16	34	4	59	1	0	19	160

◆ 各種研修会

研修名	月日	対象者	参加者数	内容
思春期精神保健福祉研修会	7月28日	教育関係者、医療機関・相談機関・市保健福祉関係等で精神保健福祉業務に関わる業務に従事している者等	100	思春期における「発達障がい」や「不登校・ひきこもり」等の課題への理解を深め、精神保健福祉活動の推進を図る。
精神保健福祉担当者研修会	9月30日	保健所、区役所等で精神保健福祉業務に関わる業務に従事している者	32	精神保健福祉業務に従事する者が必要な専門的知識及び技術を習得することで、地域精神保健福祉活動の推進を図る。

(3) 自殺対策事業について

【資料】自殺者数・自殺死亡率の年次推移

◆「人口動態統計」による

年	全国		熊本県		熊本市	
	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率
R2	20,243	16.4	282	16.4	118	16.1
R3	20,291	16.5	255	14.9	93	12.6
R4	21,238	17.4	318	18.7	136	18.4

◆「地域における自殺の基礎資料」による（発見日・住居地）

年	全国		熊本県		熊本市	
	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率
R2	21,081	16.6	288	16.3	119	16.2
R3	21,007	16.8	271	15.4	100	13.7
R4	21,881	17.5	305	17.5	121	16.5

<考察>

全国の自殺死亡率は増加傾向にあり、熊本市における自殺死亡率も増加している。

① ネットワーク体制構築 <精神保健福祉室>

年度	題名	月日	場所	内容
R3	自殺対策連絡協議会	令和4年3月18日	交通局 3階会議室	自殺の現状、熊本市自殺総合対策計画の進捗状況について、意見交換等
R4	自殺対策連絡協議会	令和5年2月8日	希望荘 大ホール	自殺の現状、熊本市自殺総合対策計画の進捗状況について、意見交換等

② 普及啓発 <精神保健福祉室・こころの健康センター>

◆ 精神保健福祉室

年度	月日	場所	内容
R4	9月	市内	関係機関への自殺予防週間啓発用ポスターの送付及び掲示依頼
	9月及び3月	市内	市政だより、リビング新聞、ラジオによる啓発活動
	3月	市内	関係機関への自殺対策強化月間啓発用ポスターの送付及び掲示依頼

◆ こころの健康センター

	月日	場所	内容
R4	随時開催	各所	ゲートキーパーに関する出前講座
	随時開催	各所	依存症に関する出前講座

③ SNS相談 <精神保健福祉室>

若年層向けの自殺対策として、既存の電話や面談での相談に加え、SNS（LINE）を活用した心の悩み相談を受け付ける（連携中核都市圏事業《8市町村》として実施）。

R4		総数 ※全市町村分	男性	女性	不詳	児童生徒・学生向け相談		大人向け相談					
						学生	不詳	10代	20代	30代	40代	50歳～	不詳
	件数	4,068	584	3182	302	1742	71	50	265	597	776	556	11
	割合		14.4%	78.2%	7.4%	42.8%	1.7%	1.2%	6.5%	14.7%	19.1%	13.7%	0.3%

・実施期間：R4.4.1～R5.3.31

・相談時間 火曜、日曜：18:00～22:00

R3		総数 ※全市町村分	男性	女性	不詳	児童生徒・学生向け相談		大人向け相談					
						学生	不詳	10代	20代	30代	40代	50歳～	不詳
	件数	2,794	225	2343	226	1285	23	49	205	484	354	350	44
	割合		8.1%	83.9%	8.1%	46.0%	0.8%	1.8%	7.3%	17.3%	12.7%	12.5%	1.6%

・実施期間：R3.6.11～R4.3.31

・相談時間 火曜、日曜：18:00～22:00

R2		総数	男性	女性	不詳	～19歳	20代	30代	40代	50歳～	不詳
	件数	1,472	120	963	389	188	101	284	309	188	402
	割合		8.2%	65.4%	26.4%	12.8%	6.9%	19.3%	21.0%	12.8%	27.3%

・実施期間：R2.6.16～R3.3.31

・相談時間 火曜：18:00～21:00、日曜：16:00～21:00

木曜：18:00～21:00（8月より開始）

④ ストレスチェックアプリ「こころの体温計」 <精神保健福祉室>

市民がいつでも自分のストレス状態を確認し、必要な相談支援窓口の情報を得られるよう、ホームページにストレスチェックシステム「こころの体温計」を掲載する。

年度		アクセス数	市民				市民以外 ・不明
			うち本人モード 利用	レベル3 本人モードで「うつ傾 向者」と判定	レベル4 本人モードで「ケア対象 者」と判定		
R2	件数	99,532	60,377	35,869	1,917	1,994	39,155
	割合		60.7%		5.3%	5.6%	39.3%
R3	件数	80,568	43,284	23,221	1,239	1,464	37,284
	割合		53.7%		5.3%	6.3%	46.3%
R4	件数	81,128	48,683	28,775	1,573	1,739	32,445
	割合		60.0%		5.5%	6.0%	40.0%

⑤ 相談事業 <こころの健康センター>

◆ 包括相談会の実施

題名	月日	延件数	実件数	場所	内容
暮らしとこころの悩みの相談会	年4回	49件	34件	ウェルパルクまもと3階	自殺の社会的要因である失業、倒産、多重債務問題等に対する生活相談と、心の健康等の健康要因に関する相談について、弁護士、精神科医師、臨床心理士等の専門職で対応し、問題の解決を図る機会を提供することで、自殺予防に努める。 ※年4回(6月、9月、12月、3月)。

◆ こころの健康相談統一ダイヤルへの参加

0570-064-556 (おこなおう まもろうよ こころ)

⑥ 人材育成 <こころの健康センター>

◆ ゲートキーパー養成研修の実施(年2回)

年度	ロールプレイ型研修		ゲートキーパーの説明・相談 機関の紹介		内容
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数	
R2	2	45	6	119	自殺を防ぐことを目的として地域支援者等に自殺危機介入スキルの習得を目的とした研修会を実施し、自殺予防対策を図る。 ※「ロールプレイ型研修」、「ゲートキーパーの説明・相談機関の紹介」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした回もあるため、例年よりも減少している。
R3	2	33	9	1,842	自殺を防ぐことを目的として地域支援者等に自殺危機介入スキルの習得を目的とした研修会を実施し、自殺予防対策を図る。 ※ロールプレイ型研修(1回分)を新型コロナウイルス感染症の影響により中止している。また、庁内職員向け動画研修を受講した1,677人を含む。
R4	0	0	8	2,939	自殺を防ぐことを目的として地域支援者等に自殺危機介入スキルの習得を目的とした研修会を実施し、自殺予防対策を図る。 ※ロールプレイ型研修は、対応できる職員の不足により中止している。また、庁内職員向け動画研修を受講した2,675人を含む。

◆ 各種研修会

題名	月日	参加者	場所	内容
令和4年度災害に備えての支援者のスキルアップ研修会～サイコロジカル・ファーストエイド(PFA)～	令和4年12月1日	79人	熊本県庁地下大会議室	講話・グループワーク「サイコロジカル・ファーストエイド(災害対応時に身につけておくべき支援の心構えや、被災直後の初期対応の基本)」 ※熊本県精神保健福祉センターと共催
令和4年度災害に備えての支援者のスキルアップ研修会～サイコロジカル・リカバリースキル(SPR)～	令和5年1月11日～12日	29人	パレア	講話・グループワーク「サイコロジカル・リカバリースキル(被災者の中長期の回復を支えるこころのケア)」 ※熊本県精神保健福祉センターと共催

⑦ 自死遺族支援 くこころの健康センター>

※熊本県精神保健福祉センターと共催

年度	題名	月日	開催回数	参加者数	場所	内容
R4	自死遺族グループミーティング	奇数月第4木曜	6	28人	熊本県精神保健福祉センター	大切な人を自死(自殺)で亡くした者が悩みや苦しみを話すことができる場。
	自死遺族交流会	令和4年10月8日(土)	1	6人	熊本県民交流館パレア	自死遺族支援者研修会の講師を交えて、自死遺族が集う場。

⑧ 自死遺族支援者研修会くこころの健康センター>

自死遺族支援の関係者、行政職員等を対象に、自死遺族支援に関する研修会を開催し、自殺予防の推進を図る。※熊本県精神保健福祉センターと共催

年度	参加者数	内容
R2	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	「生きたかったのに、生きてほしかったのに～当事者のそれぞれの思いから支援の在り方を考える～」
R3	26	「生きたかったのに、生きてほしかったのに～当事者のそれぞれの思いから支援の在り方を考える～」
R4	20	「ご遺族に寄り添うために」

⑨ 自殺未遂者支援事業

年度	新規受理	電話	来所	訪問	合計
R2	22	220	15	25	260
R3	16	130	14	22	166
R4	19	177	30	21	228

⑩ 自殺予防研修会

精神保健福祉活動に従事する支援者に対して自殺予防の研修会（思春期）を開催し、自殺予防の推進を図る。

年度	参加者数	内容
R2	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
R3	126	「子どもたちの自傷と自殺」
R4	118	「死にたい気持ちにどう向き合うか」

(4) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて

事業目的

精神保健医療福祉政策における「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神科病院に入院している精神障がい者に対し、退院に向けた支援を行うとともに、精神障がい者の地域移行・地域生活定着に必要な地域体制を整備し、地域の関係者が連携して精神障がい者の退院を積極的に推進することで、精神障がい者の地域移行及び自立を促進する。

① 障がい者自立支援協議会 精神障がい者地域移行支援部会（全体部会）

精神障がい者の支援に直接関わる市内の関係者が連携し、退院促進のための事業（意見交換会や研修会等）を実施する等、精神障がい者の地域移行及び地域定着に関する具体的な支援体制の検討及び協議に主眼をおき、実施。

部会は、障がい者自立支援協議会の部会として実施し、精神科病院、相談支援事業所、区役所等で構成する。

<開催状況>

年度	開催月	内容
R4	6月	6/14 全体部会 参加者70名 ZOOM開催 〈内容〉①事業説明・基礎研修 ②地域アセスメントについて ③各区部会報告 ④グループディスカッション
	9月	9/13 全体部会 参加64名 ZOOM開催 〈内容〉①区部会報告 ②動画視聴（ピアサポーターへのインタビュー） ③グループディスカッション
	12月	12/13 全体部会 参加66名 ZOOM開催 〈内容〉①区部会報告 ②地域移行支援の流れについて ③グループディスカッション
	2月	2/2 全体部会（看護部会と合同開催） ZOOM開催 〈内容〉①講話：「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて」 ②シンポジウム

② 各区役所管内地域移行支援連絡会

各区役所管内の精神科病院、相談支援事業所、区役所等が連携し、区毎の地域移行支援目標の作成とその達成に向けた取り組みを行う。

年度	区	内容
R4	中央区	5/24第1回区部会（ZOOM）、10名参加。 ・地域移行支援の取り組み説明。 ・日隈病院のケース説明。 9/27第2回区部会（ZOOM）、9名参加。 ・各病院の対象者について情報共有。 ・地域診断について状況確認。 2/20第3回区部会（ZOOM）、6名参加。 ・医療機関巡回相談の状況報告。 ・地域移行ケースの共有について。
	東区	7/21第1回区部会（ZOOM）9名参加。 ・ケースの進捗報告。 ・「地域にあるもの、地域に必要なもの」について意見交換。 11/28第2回区部会（ZOOM）4名参加。 ・東区の入院者状況の把握について。 ・ピアサポーターとの交流促進について。
	西区	7/25第2回区部会7名参加。 ・地域移行支援を活用した事例の進捗状況・検討。 10/3第3回区部会、6名参加。 ・地域移行支援を活用した事例の進捗状況・検討。 ・現状の課題点の確認。
	南区	5/20第1回区部会（ZOOM）、8名参加。 ・社会資源MAP（仮）についての意見交換。 ・今後の取り組みについて。 8/24第2回区部会（ZOOM）、7名参加。 ・地域診断について情報共有。 12/6第3回区部会（ZOOM）、8名参加。 ・医療機関アンケートシートについての意見交換。 1/31第4回区部会（ZOOM）、5名参加。 ・医療機関アンケートシートについて。
	北区	6/1第1回区部会（ZOOM） ・年間スケジュールの作成。 ・地域移行支援マニュアルについての意見交換。 10/26第2回区部会（ZOOM）、12名参加。 ・地域移行支援個別給付進捗状況の報告。 ・北区の地域課題について意見交換。 3/15第3回区部会（ZOOM）、11名参加。 ・地域移行支援個別給付進捗状況の報告。 ・地域診断をテーマに意見交換を実施。

③ 地域体制整備アドバイザー配置事業

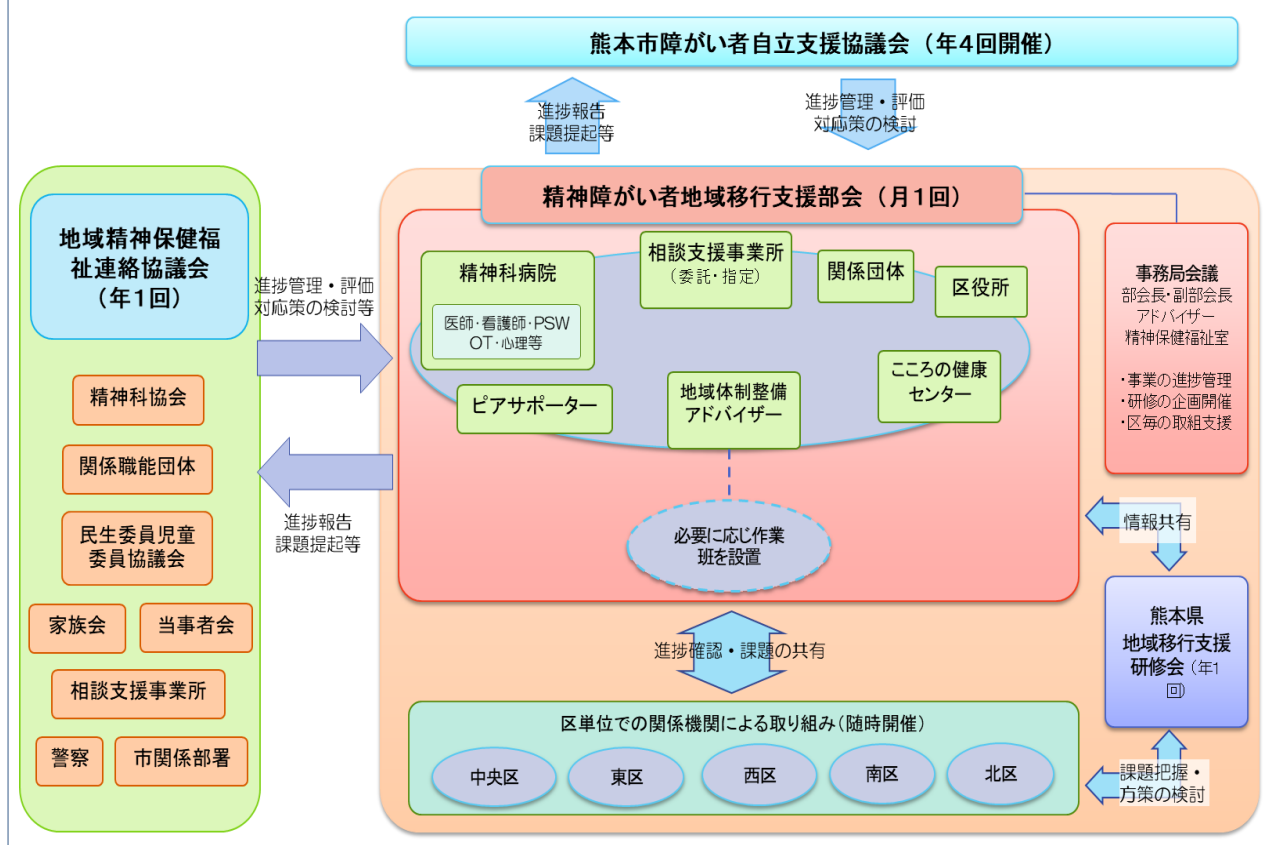
精神科病院や指定一般相談支援事業所等の地域移行に向けた取り組みに対する支援・助言や精神障がい者の地域移行及び地域定着に必要な体制整備の総合調整を行う。

氏名	所属
大 嶋 高 昭	桜が丘病院
崎 山 徹	相談支援センター こころ
中 野 誠 也	熊本県あかね荘

<令和4年度 配置状況>

- ・地域移行支援部会（全体会）への出席、部会の打ち合わせ（コアメンバー会議）
- ・各区管内地域移行支援部会（区部会）への出席
- ・精神保健医療福祉関係団体・機関への事業説明
- ・精神科病院や相談支援事業所等の支援者からの地域移行支援に関する相談への助言 など

【精神障がい者地域移行支援事業 体制図】



④ 地域精神保健福祉連絡協議会の設置

精神障がい者の社会復帰及び自立、並びに社会参加の促進を図ることを目的に、精神保健福祉の正しい知識の普及啓発に関する事、精神障がい者の社会復帰及び社会参加に関する事、関係機関との連絡調整及び協力に関する事を協議する。

協議会は、精神科協会、関係職能団体、民生委員児童委員協議会、家族会、当事者会、相談支援事業所、警察、市関係部署の代表者等で構成し、年1回実施する。

	参加機関数	参加者数	テーマ
R2	-	-	新型コロナ感染リスク等を踏まえ、協議会の開催ではなく資料提供で代替実施(45機関)
R3	25	33	孤独・孤立対策について 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの取り組みについて
R4	34	34	措置入院者の退院後支援について 地域移行支援について

⑤ ピアサポート活用事業

地域で生活し、病状が安定している精神障がい者が、当事者の視点を持って、精神科病院や指定一般相談支援事業所等の地域移行・地域定着に向けた取り組みに対する支援・助言を行う

〈主な活動〉

- ・入院中の精神障がい者への退院に向けた相談支援・助言
- ・院外活動にかかる同行支援
- ・ピアサポート活用に関する啓発活動 など

年度	登録者数(人)	活動実人数(人)	活動件数(実件数)				
			個別ケース支援	作業療法活動等への派遣	会議参加	普及啓発	その他(事前打ち合わせ等)
R2	22	0	0	0	0	0	0
R3	18	0	0	0	0	0	0
R4	19	6	0	0	0	6	0

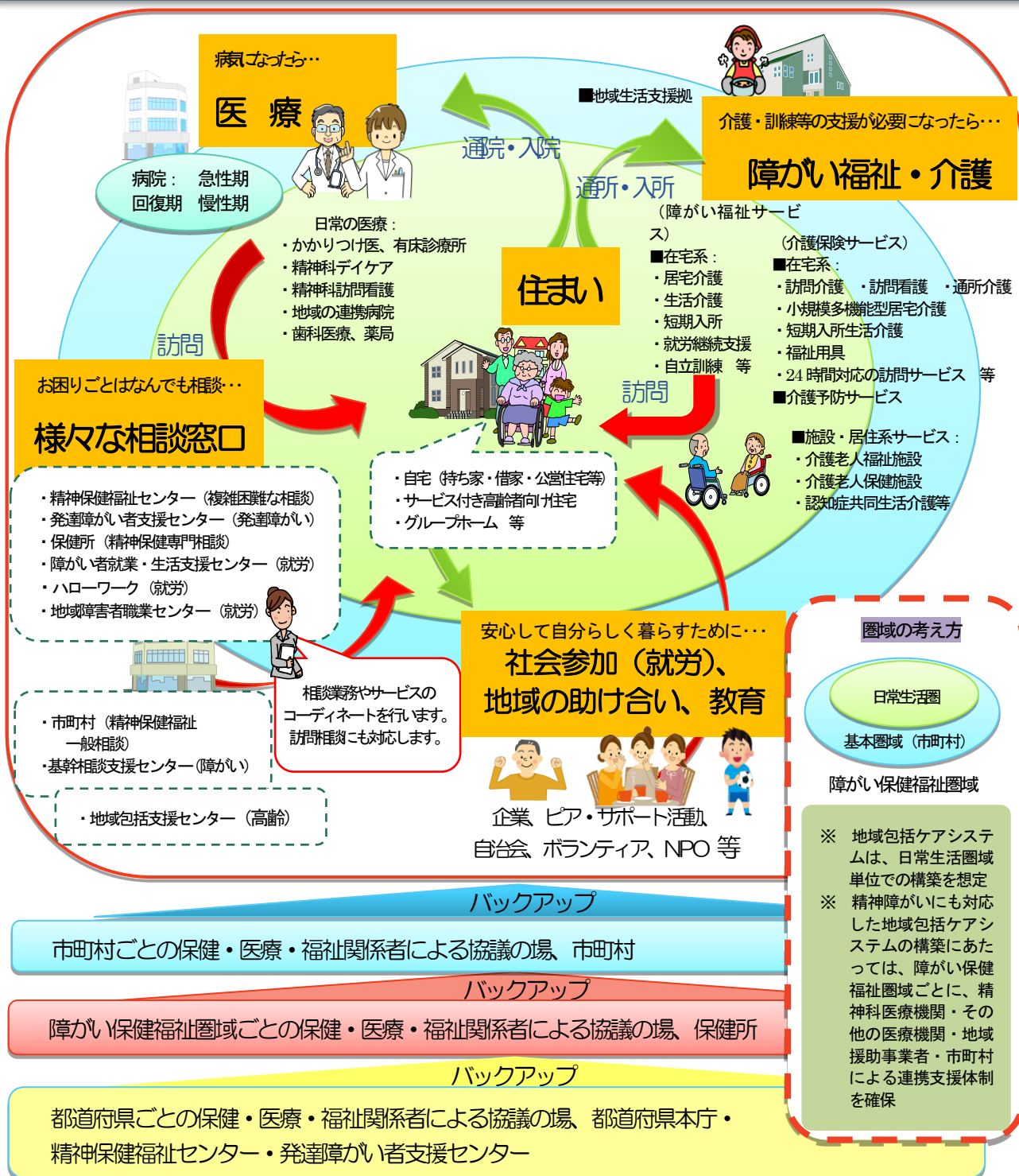
〈令和4年度活動状況〉

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療機関からの活動依頼も中止。ピアサポーター養成講座、地域移行支援部会(全体部会)内での普及啓発活動6件。
- ・登録者で連絡会を7回開催 参加者数 延べ44人
昨今の情勢でできる活動を考える、ピアサポートで大切にしたいこと、これまでの活動で思ったこと、コロナについて、体験談、近況報告等を話し合う。

●精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について（イメージ）

○精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障がい福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す必要がある。

○このような「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障がい福祉・介護事業者が、精神障がいの程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



(5) 精神障害者退院後支援事業について

- 平成 31 年 4 月以降に措置入院をした精神障がい者が、社会復帰及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な医療その他の援助を適切かつ円滑に受けることができるよう、入院中から本人の意向と支援ニーズの把握に努め、家族等の支援者、医療機関や地域援助事業者等の関係者と連携・協力して、退院後に社会生活が安心して継続できるよう支援を行う（R1 年度より事業開始）。
- 計画に基づく支援を受けることに同意した者について、原則として入院中に退院後 6 か月間（最長 1 年間）の『退院後支援に関する計画』を作成し、退院後に計画に基づいて支援を行う。
- 計画作成に当たっては、支援対象者及び関係者による調整会議を開催し、支援体制を整える。
- 同意が得られず計画作成に至らなかった場合も、必要な相談支援が提供できるよう環境調整を行う。

年度	措置件数（対象者）		実施（計画作成有） ※2	計画作成無 ※3
	市内	市外 ※1		
R2	51	5	27	14
R3	71	7	17	15
R4	77	3	33	5

※1 他の自治体で措置入院となり、同意を得た上で連絡があった者。

※2 入院後、順次支援に着手。実施は市外を含む。

※3 同意が得られなかった場合に精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 47 条に基づく支援を行った者。

(6) 社会復帰支援事業について

① WRAP 集中クラス・WRAP 講演会〈こころの健康センター〉

精神障がい者が、苦勞や困難に直面した際に WRAP（元気回復行動プラン）を利用して、元気を回復する、または元気を保つための方法を学ぶ機会を提供する。

年度	開催回数	延参加者数
R2	コロナの影響で中止	—
R3	2	6
R4	1	14

② 就労ミーティング〈こころの健康センター〉

デイケアの修了者を対象に、ミーティングを実施。普段の生活や自身の体調等を振り返り、就労について話し合いながら、生活・就労の支援を行うことを目的とする。

年度	開催回数	参加者数
R2	8	16
R3	12	21
R4	11	21

③ ピアサポート講座 <こころの健康センター>

精神障がい者が、その経験を生かし、理解と共感を持って仲間をサポートしていきえるように知識や情報を学ぶ機会を提供する。

また、講座修了者を対象にピアサポートスキルの向上やさらなる知識の習得に向けたフォロー研修の機会を提供する。

年度	講座		ピアサポートの集い	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
R2	新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止			
R3	新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止			
R4	1	25	3	5

④ ピアサポート講演会 <こころの健康センター>

他都市で行われているピアサポート活動を紹介し、ピアサポートの普及及びリカバリーの促進を図る。

年度	開催回数	参加者数	対象者
R2	新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止		
R3	1	369	熊本市公式You Tubeへの講演動画の投稿による総再生回数
R4	1	18	「地域でピアサポーターが活躍するには何が必要か～(株)MARSの道のりと取り組み～」 「ピアサポート活動について」

⑤ 社会復帰支援講演会 <こころの健康センター>

精神障がい者の就労状況や社会復帰についての情報を提供し、社会復帰支援の推進を図る。

◆ 支援者向け

年度	参加者数	内容
R2	28	「働きたいを応援する～就労支援にSSTを活用しよう～」
R3	33	「精神疾患の方の生きづらさを理解するための視点とアセスメント(認知機能の理解とトレーニング方法)」
R4	31	「精神疾患の方の社会復帰のための支援方法～認知機能を考慮した支援について～」

(7) ひきこもり対策について

ひきこもり支援センター事業 <こころの健康センター>

※平成26年10月開設。委託先：NPO法人 おーさあ

ひきこもり支援に特化した専門機関として、ひきこもり支援センター「りんく」を委託にて開設し、相談・訪問・関係機関との連携・普及啓発・ひきこもりサポーター養成・集団プログラム等を行い、ひきこもり支援体制の充実を図る。

◆ 相談件数

	電話相談	メール相談	来所相談	訪問相談
R2	1,444(312)	89(34)	918(186)	245(28)
R3	1,604(288)	116(33)	871(166)	262(36)
R4	1,494(321)	223(40)	926(169)	199(34)

◆ 連絡協議会、研修等

	ひきこもり支援機関 連絡協議会		研修会		講演会		ひきこもりサポーター 養成研修(一般向け)	
	回数	延参加者数	回数	延参加者数	回数	延参加者数	回数	延参加者数
R2	2	68	-	-	-	-	1	15
R3	2	70	回数:1 延参加者数:19				1	12
R4	2	40	回数:1 延参加者数:26				1	8

	ピアサポーター養成研修 (本人向け)		集団プログラム (本人向け)		集団プログラム (家族向け)	
	回数	延参加者数	回数	延参加者数	回数	延参加者数
R2	-	-	40	142	8	39
R3	-	-	88	326	8	48
R4	1	0 ※申込なし	96	310	12	20

(8) 依存症対策について

① 依存症家族教室 <こころの健康センター>

アルコールや薬物・ギャンブルなどの依存症に伴う問題に対応するために、家族が学びあい、共感と癒しを得る機会を提供する。

毎月 第1火曜日 18:30~20:30

第3火曜日 13:30~15:30

年度	開催回数	延参加者数
R2	16	82
R3	22	77
R4	22	116

② 依存症当事者グループプログラム <こころの健康センター>

依存症当事者を対象とし、依存症の回復プログラムを用いて、やめたくても自分でコントロールできない様々な行動を変えていくことを目的にしたグループプログラムを行う。

毎月 第1金曜日 14:00~16:00

第3金曜日 14:00~16:00

年度	開催回数	延参加者数
R2	20	61
R3	22	71
R4	24	51

③ こころの健康づくり講演会・家族教室 <こころの健康センター>

依存症で悩む家族が家族関係について正しい知識を習得し、問題行動への対応を学ぶ。また、広く市民を対象とし「心の健康づくり」として依存症に関わる啓発を行う。

年度	講演会		
	開催日	参加者数	内容
R2	11月29日	40	「知っておきたい依存症～家族や周りの人にできること～」
R3	10月23日	36	「新型コロナウイルスの流行で増える依存症 ～ただのやりすぎ？趣味？それとも病気なのかを考える～」 「学校現場で気づく依存に苦しむ子どもへの対応について」 「座談会」
R4	10月30日	38	「やりすぎなのか、依存症なのか？-依存症の予防、治療、回復を目指すご本人、ご家族の取り組み-」 「座談会」

④ 依存症予防普及啓発講話<こころの健康センター>

市民に対して、依存症についての知識を普及啓発することを目的として実施する。

年度	開催日	延参加者数	内容
R4	2月1日	60	・薬物乱用防止教室 ・依存症について
	2月2日	95	
	2月24日	31	

⑤ 依存症研修会 <こころの健康センター>

精神保健福祉業務に従事する者が依存症についての必要な専門的知識及び技術を習得することで、依存症への適切な対応の充実を図る。

年度	開催日	延参加者数	内容
R2			新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止
R3	1月8日	66人	「生きづらさの支援としての依存症治療」
R4	1月29日	95人	「愛着障がいとアディクション～精神病理から考える依存症支援～」

依存症研修会 < 共催分 >

依存症治療拠点機関（菊陽病院、益城病院）、依存症相談拠点機関（熊本県精神保健福祉センター・当センター）、熊本産業保健総合支援センター主催で各種の研修を実施

年度	内容	参加者数	対象
R4	令和4年度熊本県ギャンブル等依存症治療拠点機関研修 「借金問題を打ち明けられたら」 「体験談発表」	177	司法関係（弁護士・司法書士）、精神科病院職員、地域支援者（保健所等行政職員、地域包括支援センター・社会福祉協議会・相談支援専門員等）
	令和4年度熊本県アルコール健康障害治療拠点機関研修（益城病院） 「SBIRTSの説明～保健所や普通の精神科が普段の仕事の片手間にできるアルコール医療の連携」	43	精神科病院職員、地域支援者（保健所等行政職員、地域包括支援センター・社会福祉協議会・相談支援専門員等）
	令和4年度熊本県アルコール健康障害治療拠点機関研修（菊陽） ①事例検討・グループワーク ②講義「高齢者のアルコール問題」	22	精神科病院職員、地域支援者（保健所等行政職員、地域包括支援センター・社会福祉協議会・相談支援専門員等）
	令和4年度アルコール・ギャンブル等依存症対策セミナー 「職場におけるアルコール関連問題」 「熊本における依存症対策の各機関の取り組み状況と現状、課題について各パネリストを通じたディスカッション」	63	産業医、事業場の事業主、衛生管理者、衛生推進者、人事労務担当者、労働者等

依存症支援者研修等研修事業（令和5年度新規事業）

県と合同により、医療機関や相談機関等の支援者を対象に依存症に関する研修を県と合同で依存症拠点医療機関に委託し実施。

（9）その他、精神障がい者の社会復帰支援について

①精神障害者家族教室<精神保健福祉室>

年度	開催件数	延参加者数
R2	9回	149人
R3	8回	150人
R4	11回	195人

②ケース検討会議 <各区役所、精神保健福祉室、こころの健康センター、関係医療機関等>

年度	開催件数	延参加者数
R2	266回	1,856人
R3	271回	1,862人
R4	300回	2,002人

(10) 精神科救急体制整備事業（県・市合同事業）について

熊本県精神科協会に委託 <精神保健福祉室>

① 精神科救急情報センター事業

365日（休日・夜間）対応できる精神科救急情報センター（精神医療相談窓口）を運営し、緊急的に医療を必要とする精神障がい者やその家族からの相談を受け、必要な助言を行うとともに、患者の状態に応じて対応可能な機関につなぐ。

年度	緊急性が認められる相談 （輪番病院等を紹介）		緊急性は認められない相談 （平日昼間の受診助言等）		その他相談対応 （傾聴・助言等）		合計（件）	1日平均（件）
	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
R2	518	43.3%	225	18.8%	452	37.8%	1,195	3.3
R3	614	48.9%	242	19.3%	399	31.8%	1,255	3.4
R4	746	51.7%	267	18.5%	431	29.8%	1,444	4.0

② 精神科二次救急医療事業

休日・夜間における精神疾患の急発及び急変のため、速やかに精神科治療を必要とする者に対し、迅速かつ適切な医療及び保護を図るために、24時間365日入院可能な体制を確保する。

年度	男性（件）	女性（件）	不明（件）	合計（件）	1日平均（件）
R2	365	552	15	932	2.5
R3	349	452	14	815	2.2
R4	428	530	16	972	2.7

③ 身体合併症救急医療確保事業

精神科を有する救急告示病院である国立病院機構熊本医療センターを「地域搬送受入対応施設」として指定し身体疾患を合併している精神疾患患者（以下「身体合併症患者」という。）の24時間365日の継続的・安定的な受入体制を確保するとともに、他病院との円滑な連携調整を行うことにより、本県の身体合併症患者の診療体制の強化を図る。

年度	男性（件）	女性（件）	合計（件）	1日平均（件）
R2	259	446	705	1.9
R3	278	415	693	1.9
R4	237	348	585	1.6

(11) 入院手続きの件数等について

<精神保健福祉室>

① 措置入院関係

年度	通報等の種別	通報等の件数	診察不要とした件数	診察した件数 (A)	(A)のうち措置件数	(A)のうち措置不要件数
R2	一般人申請 (法第22条)	1	1	0	0	0
	警察官通報 (法第23条)	90	33	57	48	9
	検察官通報 (法第24条)	18	15	3	2	1
	矯正施設長通報 (法第26条)	42	41	1	1	0
	合計	151	90	61	51	10
R3	一般人申請 (法第22条)	1	0	1	1	0
	警察官通報 (法第23条)	103	27	76	64	12
	検察官通報 (法第24条)	16	6	10	6	4
	矯正施設長通報 (法第26条)	41	41	0	0	0
	合計	161	74	87	71	16
R4	一般人申請 (法第22条)	5	2	3	3	0
	警察官通報 (法第23条)	116	28	88	68	20
	検察官通報 (法第24条)	18	12	6	5	1
	矯正施設長通報 (法第26条)	37	36	1	1	0
	合計	176	78	98	77	21

※緊急措置入院の件数を1件として計上する。但し、同一入院患者の本鑑定分はダブルカウントしない。

② 医療保護入院関係

年度	第33条1項の規定に基づく入院届 (家族等同意)	第33条3項の規定に基づく入院届 (市長同意)	第33条の2の規定に基づく退院届
R2	2,164	58	2,121
R3	2,008	75	2,087
R4	1,871	73	1,945

(12) 精神医療審査会

<こころの健康センター>

精神科病院に入院中の者の人権を擁護し、精神科病院の適正な医療及び保護を確保するため、精神科病院に入院中の者からの退院請求及び処遇改善請求の審査、精神科病院からの報告書類の審査を行う。

◆ 定期等の報告

単位：件

年度	措置定期	医療保護定期	入院届	計
R2	22	709	2,152	2,883
R3	28	742	2,115	2,885
R4	29	765	1,925	2,719

◆ 退院等請求

単位：件

年度	退院請求	処遇改善請求	計
R2	23	8	31
R3	24	9	33
R4	25	4	29

◆ 退院等請求結果

単位：件

年度	退院の請求			処遇改善の請求		計
	入院が適当	入院が不適当	入院形態変更	処遇が適当	処遇が不適当	
R2	21	0	2	8	0	31
R3	23	0	1	8	1	33
R4	23	0	2	3	1	29